

令和6年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

3年

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 言語能力の基礎を育成することを目指す ②（思考・判断・表現） 表現能力を高めるための基本の力（認識力・思考力・感受性）を伸ばすことを目指す ③（主体的に学習に取り組む態度） 現代人として生きるための言語感覚を磨くことを目指す
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	【言語事項】② 漢字の学び直し	（知 技）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。 （思判表）主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった （主体性）習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。	（知 技） 課題小テスト （思判表） 課題小テスト （主体性） 授業態度 課題提出
	【言葉と出会う】⑫ 1 言葉と表記 2 整った文を書く 3 相手に応じた言葉遣い 4 わかりやすい文を書く 5 文のつなぎ方 実践トレーニング① 表現への扉1 漢字使い分けミニ辞典 * 単元テスト	（知 技）書き方の基本を理解することができるようになった。 （思判表）原稿用紙（縦書き・横書き）の使い方を確認し、相手に伝えることを意識して分かりやすい文章を書くことができるようになった。 （主体性）書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に活かすことができるようになった。	（知 技） ワークシート 単元テスト 定期考査 （思判表） ワークシート 単元テスト 定期考査 （主体性） 授業態度・発表 課題提出
前期期末 まで (14時間)	【言語事項】② 漢字・語句の意味	（知 技）常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 （思判表）主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 （主体性）習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。	（知 技） 課題小テスト （思判表） 課題小テスト （主体性） 授業態度 課題提出

	<p>【伝える、伝え合う】⑫</p> <p>1 自己紹介ゲーム 2 言葉のストレッチ体操 3 絵や写真を見て書く 4 マイニュース記事を書く う 表現への扉2 話し合いのいろいろ * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 自分の伝えたいことを表現するための基本を理解し、話したり書いたりすることで表現できるようになった。 (思判表) 自分の伝えたいことを説得力を持たせて表現できるようになった。 (主体性) 思いを表現する活動から、他者とのコミュニケーション力を高めることができたようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
<p>後期中間 まで (18 時間)</p>	<p>【言語事項】② 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができたようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【小論文・レポート入門】⑪</p> <p>1 小論文とは何か 2 反論を想定して書く 3 文章を読み取って書く 4 統計資料を読み取って書く 5 発想を広げて書く 6 レポートを書く 7 論文を書くために 表現への扉3 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 小論文やレポートの基本的な書き方を理解し、実際に小論文やレポートを書くことができたようになった。 (思判表) 情報を収集・分析し、自分の考えを深め、それを効果的に伝えられるよう、論理の構成、文体などについて考えることができたようになった。 (主体性) 現代社会に関する文章や資料を読み取り、それに対する自分の意見をまとめることができたようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【表現の実践】④ 日常生活の正しい過ごし方</p>	<p>(知 技) 接続表現を正しく効果的に使い、適切な表記や表現を意識することができるようになった。 (思判表) 日常生活について、自分の意見や理由を明確に示すことができたようになった。 (主体性) 日常生活の中の題材について、その方法の説明を自身の生活に照らし合わせ、ユーモアを用いて表現できるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【読書】①</p>	<p>(知 技) 人定図書室の図書の配置や貸し出しのルールを習得し、興味ある本の選書ができるようになった。 (思判表) 読書のもつ意味について考えることが</p>	<p>(知 技) 選書し読書する (思判表) 選書し読書する</p>

		<p>できるようになった。</p> <p>(主体性) 学力向上に深く関わりがある読書活動に興味関心をもつことができるようになった。</p>	<p>(主体性) 選書し読書する</p>
<p>後期期末 まで (14 時間)</p>	<p>【言語事項】② 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【自己PRと面接】⑨ 1 自分を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望理由を書こう 5 自己推薦書や学修計画書を書く 6 面接にチャレンジ 7 グループディスカッションをしよう 実践トレーニング② 表現への扉4 話し合いのいろいろ * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 自分の特長を他者に的確に伝える方法を身に付けることができるようになった。</p> <p>(思判表) 多角的に物事を見、情報を収集することで、自分のことを表現することができるようになった。</p> <p>(主体性) 自分自身のこれまでの生き方やこれからの生き方について考えることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【表現の実践】③ みんなで作ろう国語辞典</p>	<p>(知 技) 国語辞典の形式を理解し、自分なりの意味と解説を書くことができるようになった。</p> <p>(思判表) 国語辞典に載っていない新しい言葉を解説したり、すでにある解説に新しい意味を加えたりすることで語彙を増やし、わかりやすい国語辞典を作ることができるようになった。</p> <p>(主体性) 作成した国語辞典を鑑賞し、ことばを用いる場面を想像、自らの生活に活用することができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 作品 相互評価・自己評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度 課題提出</p>
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>【言語事項】④ 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>(思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。</p> <p>(主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】国語表現（大修館書店） 【その他】「実践文字カトリプルチェック」（尚文出版）</p>
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】に関して 家庭学習（予習・復習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ教材を読み、漢字の読み・書き。語句の意味を確認し調べておく ・復習に力をいれ、教科書・ワークシート等を見直し内容を再確認し、疑問点を明らかにする <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的事項の繰り返し学習で、知識・技能の定着に努める ・板書を写すだけでなく、自主的にメモをとる <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見・感想をもつことから始め、考えをまとめることを丁寧に繰り返す ・授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾ける <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを作り上げる
<p>評価方法</p>	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト ・発問に対する解答や反応の観察 ・ワークシート・課題作文等 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席・授業態度・ワークシート（振り返りができているか）・提出物

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	地歴	科目	歴史総合	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） ・近現代の歴史の変化について、世界とそれの中の日本との関係性に留意しながら基礎・基本的な知識を理解する。 ・歴史に関する諸資料から様々な情報を読み取り、適切に調べ、まとめる技能を身に付ける。 ②（思考・判断・表現） ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などに着目して、資料を読み取り、概念や既習事項と組み合わせながら、設定された問いに対して考察し、文章で表現したり、また自らの問いを表現したり構想したりする。 ③（主体的に学習に取り組む態度） ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を追究、解決していくために、日々の学習にやりがいを持ち、継続的な学習を行うとともに、主体的に授業に参加する。
-------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価
前期中間 まで (14時間)	●単元：4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	(知 技) ●欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 (思判表) ●「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、自らの言葉で表現している。 (主体性) ●欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
	●2節：5章 近代化が進む日本と東アジア	(知 技) ●明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 (思判表) ●明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自らの言葉で表現している。 (主体性) ●明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度

<p>前期期末 まで (14時間)</p>	<p>3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1章：第一次世界大戦と日本の対応 ● 2章：国際協調と大衆社会の広がり 	<p>(知 技) ●国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(思判表) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 3章：日本の行方と第二次世界大戦 	<p>(知 技) ●世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(思判表) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 4章：再出発する世界と日本 	<p>(知 技) ●冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(思判表) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期期末 まで (14時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 3章：グローバル化のなかの世界と日本 	<p>(知 技) ●冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。</p> <p>(思判表) ●グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自らの言葉で表現している。</p> <p>(主体性) ●冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(思判表) 考査 シート提出 課題提出</p> <p>(主体性) 考査 シート提出</p>

			課題提出 授業態度
終業式 まで (4時間)	●第1節：冷戦の終結と変わる世界構造	(知 技) ●冷戦の終結により、グローバル化が進み、世界構造が変化したことを理解している。 (思判表) ●冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進展したりしたのかについて考察し、表現している。 (主体性) ●地球社会が抱える課題の深刻さが実感でき行動をイメージできるようになった	(知 技) 考查 シート提出 課題提出 (思判表) 考查 シート提出 課題提出 (主体性) 考查 シート提出 課題提出 授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：明解 歴史総合（帝国書院）
学習方法 どのような に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからない文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと ・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること。 ・分からなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決する姿勢で授業に参加すること。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの課題レポート ・定期考查 <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考查 ・単元ごとの課題レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroomにおけるシート提出 ・学習課題や授業に取り組む態度など

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3	開講 学年	3年
----	----	----	-----	-----	---	----------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>②（思考・判断・表現） 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けることができる。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己評価欄
前期中間 まで (21時間)	●複素数と方程式 式の計算 複素数と2次方程式 21時間	（知 技） 分数式の四則計算の方法、複素数の四則計算、整式の除法について理解し、計算ができる。等式、不等式の証明をすることができる。 （思判表） 分数式の四則計算、複素数の四則計算、整式の除法について既に学習した数や式の計算と関連付けて多面的に考察できる。 （主体性） 分数式の計算、複素数、整式の除法について関心をもっている。	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
前期期末 まで (21時間)	高次方程式 式と証明 11時間	（知 技） 分数式の四則計算の方法、複素数の四則計算、整式の除法について理解し、計算ができる。等式、不等式の証明をすることができる。 （思判表） 分数式の四則計算、複素数の四則計算、整式の除法について既に学習した数や式の計算と関連付けて多面的に考察できる。 （主体性） 分数式の計算、複素数、整式の除法について関心をもっている。	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
	●いろいろな関数 指数関数 対数関数 10時間	（知 技） 指数法則を用いて数や式の計算ができる。対数の定義に基づいて、対数の値を求めることができる。指数関数や対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。 （思判表） 指数関数や対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察できる。 （主体性） 身の回りの現象で、指数関数や対数関数のような変化をするものを探そうとしている。	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
後期中間 まで (27時間)	対数関数 三角関数 加法定理／弧度法 27時間	（知 技） 一般角について三角関数の値を求めることができる。三角関数の値の変化やグラフの特徴、三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解できる。 （思判表） 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できる。三角関数の加法定理を利用すると、2倍角の公式や三角関数の合成を導けることを考察できる。	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題

		(主体性) いろいろな三角関数のグラフをかき、その特徴を調べようとしている。加法定理からいろいろな公式が導けることが分かり、その良さに関心をもっている。	
後期期末 まで (21 時間)	●微分と積分 微分の考え 2 1 時間	(知 技) 微分係数や導関数の意味を理解し、それぞれを求めることができる。導関数を用いて、関数の値の増減や極大・極小を調べることができる。 (思判表) 放物線上の点における接線の方程式を求めることを考察できる。3 次関数のグラフ、最大値・最小値を求める際に、導関数を用いて考察できる。 (主体性) 関数の局所的な変化に着目することの良さが分かり、その変化を調べようとしている。	知 技: 考査、 小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、 質問、課題
終業式 まで (6 時間)	●微分と積分 積分の考え 6 時間	(知 技) 不定積分や定積分の意味を理解し、それぞれを求めることができる。 (思判表) 条件のついた不定積分を考察できる。積分の考えを用いて、いろいろな図形の面積を求める方法について考察できる。 (主体性) 微分と積分の関係に着目し、その関係に関心をもっている。	知 技: 考査、 小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、 質問、課題

使用教材 参考図書	【教科書】: 実教出版 高校数学Ⅱ 【その他】:
学習方法 どのよう に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を大切に、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>授業中の発表、質問、課題への取り組み等で評価します。</p>

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	化学	単位数	3	開講 学年	3年
----	----	----	----	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができることを目指す。
	②（思考・判断・表現） 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身に付けることを目指す。
何が できる ように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において，粘り強く学習に取り組む，自ら学習を調整しようとする態度を養うことを目指す。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	1編 物質の状態 第1章 固体の構造 1 結晶とアモルファス 2 金属結晶 3 イオン結晶 4 分子間力と分子結晶 5 共有結合の結晶	（知 技） ・単格子や配位数の意味について理解できた。 ・アモルファス金属がもつ，通常の金属にはない特徴を理解できた。 ・金属の結晶格子の名称や配位数，単格子中の原子の数，充填率について理解できた。 ・単格子の一辺の長さから金属の原子半径を求める方法を理解できた。 ・NaCl 型，CsCl 型の結晶格子について，配位数，単格子中のイオンの数，組成式について理解できた。 ・分子間力にはファンデルワールス力や水素結合があることを理解できた。 ・分子間力と物質の沸点に関係があることを理解できた。 ・ダイヤモンドと黒鉛の構造の違いを理解できた。 （思判表） ・結晶質と非晶質の構造の違いを説明することができた。 ・金属の結晶格子の名称や配位数，単格子中の原子の数，充填率を説明することができた。 ・単格子の一辺の長さから金属の原子半径を求める方法を説明することができた。 ・結晶格子に関する知識を用い，密度を求めることができた。 ・イオン結晶の違いについて，結晶格子中の配位数やイオンの数に着目しながら説明することができた。 ・水素化合物の分子量と沸点の関係について理解できた。 ダイヤモンドと黒鉛の性質について，結晶構造に基づきながら説明することができた。 （主体性） ・身近な物質でアモルファスに分類されるものには何かがあるか興味をもつことができた。 ・金属の結晶格子における原子の配列の仕方に興味をもつことができた。 ・物質の沸点に興味をもつことができた。 ・共有結合の結晶に興味をもつことができた。 ・結晶とその性質に興味をもつことができた。	（知 技） ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 （思判表） ・問題演習 ・実験の考査 ・定期考査 （主体性） ・実験レポート ・授業の振り返り

	<p>第2章 物質の状態変化</p> <p>1 粒子の熱運動</p> <p>2 三態の変化とエネルギー</p> <p>3 気液平衡と蒸気圧</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体分子の熱運動と運動エネルギー、温度の関係について理解できた。 ・状態変化の際に放出または吸収するエネルギーの名称を理解できた。 ・加熱による物質の温度変化を表した図において、グラフと物質の状態の関係を理解できた。 ・物質を構成する粒子間にはたらく力の大小について理解できた ・大気圧に関して、単位を含めて理解できた。 ・気液平衡の考え方が理解できた。 ・蒸気圧および蒸気圧曲線について理解できた。 ・蒸気圧と沸騰の関係について理解できた。 ・状態図のそれぞれの曲線や点の名称について理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡散を熱運動に関連づけて説明できるようになった。 ・加熱による物質の温度変化を表した図において、融解熱や蒸発熱にあたる部分を判断することができた ・加熱による物質の温度変化を表した図において、グラフの形について説明できるようになった。 ・比熱や融解熱、蒸発熱を用いて状態変化に必要な熱量を計算することができるようになった。 ・蒸気圧曲線から物質の蒸気圧や沸点を判断することができるようになった。 ・状態図を用いることで、ある温度・圧力における物質の状態を判断することができるようになった。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粒子の熱運動に興味をもち、意欲的に活動できた。 ・物質の状態変化について興味をもち、意欲的に活動できた。 ・大気圧や蒸気圧について興味をもち、意欲的に活動できた。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査(思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査(主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り
<p>前期期末 まで (21 時間)</p>	<p>第3章 気体</p> <p>1 気体の体積</p> <p>2 気体の状態方程式</p> <p>3 混合気体の圧力</p> <p>4 実在気体</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の体積や圧力、絶対温度について理解できた。 ・ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則を理解し、それらの式を用いることができた。 ・気体には状態方程式が成り立つことを理解できた。 ・分圧の法則について理解できた。 ・分圧や体積の比とモル分率の関係を理解できた。 ・混合気体の分圧や全圧を求めることができたようになった。 ・理想気体と実在気体の違いについて理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則をそれぞれ適切に使い、気体の圧力や体積、温度を求めることができる。 ・状態方程式から気体の分子量や密度を求めることができる。 ・モル分率を用いた平均分子量の考え方を理解し、モル分率を用いて平均分子量を求めることができる。 ・分圧の考え方をを用いて、水上置換で捕集した気体の 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査(思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査(主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り

		<p>分圧を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想気体と実在気体の違いに基づき、実在気体を理想気体に近づける条件を判断することができる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の体積や圧力、絶対温度の関係性について興味をもつ。 ・気体の体積、圧力、温度、物質量にはそれぞれどのような関係が成り立つのかを、状態方程式をもとに興味をもつ。 ・混合気体の考え方に興味をもつ。 ・実在気体について興味をもつ。 	
	<p>第4章 溶液</p> <p>1 溶解とそのしくみ</p> <p>2 溶解度</p> <p>3 希薄溶液の性質</p> <p>4 コロイド溶液</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水合という現象が理解できた。 ・水への溶解には分子の極性の有無が関係していることを理解できた。 ・飽和溶液において成立する溶解平衡について理解できた。 ・溶解度や再結晶について理解したうえで、水和水をもつ物質の溶解量に関する考え方を理解できた。 ・気体の溶解に関するヘンリーの法則について理解できた。 ・質量モル濃度について理解したうえで、その値を求めることができるようになった。 ・溶液では、蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧という現象が起こることを理解できた。 ・希薄溶液におけるこれらの現象は、溶質の種類に関係なく、溶質の粒子の数(質量モル濃度)にのみ依存することを理解できた。 ・冷却曲線と過冷却という現象について理解できた。 ・コロイドとコロイド溶液およびその分類について理解できた。 ・コロイド溶液が示す特徴的な現象について理解できた。 ・親水コロイドと疎水コロイドの沈殿について理解できた。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物質を電解質や非電解質に分けることができるようになった。 ・分子を極性分子と無極性分子に分けることができ、水への溶解の可否を判断できるようになった。 ・水和水をもつ物質の溶解量を求めることができるようになった。 ・ヘンリーの法則を用いて、気体の溶解量を求めることができるようになった。 ・質量パーセント濃度やモル濃度、質量モル濃度を適切に使い、濃度の換算を行うことができるようになった。 ・沸点上昇度と質量モル濃度の関係について理解し、式を用いて計算をしたり沸点上昇度の大小を判断したりできるようになった。 ・凝固点降下度と質量モル濃度の関係について理解し、式を用いて計算をしたり凝固点降下度の大小を判断したりできるようになった。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験レポート ・授業の振り返り

		<ul style="list-style-type: none"> ・沸点上昇や凝固点降下を利用することで分子量を求められることを理解し、その値を求めることができるようになった。 ・浸透圧とモル濃度、絶対温度の関係（ファントホッフの法則）を理解し、それを利用することで分子量を求めることができるようになった。 ・コロイド溶液におこる現象から、そのコロイドの性質や特徴について判断できるようになった。 ・塩析と凝析の違いについて説明できるようになった。 ・保護コロイドについて説明できるようになった。 （主体性） ・物質の溶解とそのしくみについて興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・希薄溶液の示す現象について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・コロイドの起こす現象や身近なコロイドについて興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 	
後期中間 まで (27 時間)	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 1 化学反応と熱 2 ヘスの法則 3 化学反応と光	（知 技） <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応に伴って放出または吸収する熱量をエンタルピー変化を用いて表すことが理解できた。 ・発熱反応，吸熱反応とエンタルピー変化ΔHの正負の関係が理解できた。 ・エンタルピー変化を付した反応式とエンタルピー変化を表した図を理解し、それぞれを作ることができるようになった。 ・反応エンタルピーの種類を理解できた。 ・反応エンタルピーの実験的な測定方法について理解できた。 ・ヘスの法則が理解できた。 ・結合エネルギーの定義について理解できた。 ・化学反応には，光を放出または吸収するものもあることが理解できた。 ・光が関わる具体的な化学反応や現象が理解できた。 （思判表） ・反応エンタルピーの種類を判断することで，エンタルピー変化を付した反応式を書いたり，反応エンタルピーを求めたりすることができるようになった。 ・ヘスの法則を利用し，与えられたエンタルピー変化を適切に用いることで，目的のエンタルピー変化を求めることができるようになった。 ・光が関わる化学反応や現象について，エンタルピー変化の正負を判断できるようになった。 （主体性） ・化学反応に関わるエンタルピー変化に興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・ヘスの法則およびその利用について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 ・化学反応に伴う光の放出や吸収について興味をもち、意欲的に取り組むことができた。 	（知 技） <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 （思判表） ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 （主体性） ・実験レポート ・授業の振り返り
	第2章 電池と電気分解 1 電池 2 電気分解	（知 技） <ul style="list-style-type: none"> ・電池のしくみとダニエル電池について理解できた。 ・電池のしくみに基づいて鉛蓄電池，燃料電池の構造 	（知 技） <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作

		<p>や両極で起こる反応式について理解できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用電池の具体例をその種類（一次電池または二次電池）を含めて理解できた。 ・陽極で酸化反応が、陰極で還元反応が起こることが理解できた。 ・水溶液の電気分解において陽極および陰極で具体的に起こる反応が理解できた。 ・ファラデーの法則が理解できた。 ・電気分解の工業的な利用について、その具体例を理解できた。 <p>（思判表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛蓄電池や燃料電池の構造に基づき、それぞれの電池で起こる現象が判断できる。 ・電池の両極での反応式を用いて、物質などの量的な計算ができる。 ・ある電解液を電気分解した際に陽極および陰極で反応する物質や発生する物質を判断できる。 ・ある電解液を電気分解した際の陽極および陰極での反応を反応式で書くことができる。 ・ファラデーの法則に基づき、電気分解の量的関係の計算ができる。 <p>（主体性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池について、その構造や両極で起こる反応、現象に興味をもつ。 ・電気分解およびその工業的な利用について興味をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（思判表） ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査（主体性） ・実験の態度 ・授業の振り返り
<p>後期期末 まで (21 時間)</p>	<p>第3章 化学反応の速さとしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 化学反応の速さ 2 反応条件と反応速度 3 化学反応のしくみ 	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学における反応速度の定義を理解する。 ・実験結果から反応速度を求める方法を理解する。 ・反応速度が速度定数とモル濃度を用いて表せることを理解する。 ・反応速度式のモル濃度の指数は実験によって決まることを理解する。 ・実験結果から、速度定数を求める方法を理解する。 ・反応速度に関わる要因として、温度、濃度、触媒があることを理解する。 ・触媒について、その役割や具体例、酵素が触媒であることを理解する。 ・活性化エネルギーについて理解する。 ・活性化エネルギーの大小と反応速度の関係について理解する。 ・活性化エネルギーと触媒や温度の関係について理解する。 <p>（思判表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反応速度の定義に基づいて、反応速度を求めることができる。 ・実験結果を適切に処理し、反応速度を求めることができる。 ・反応速度式を用いて実験結果の処理などを行い、反応速度や速度定数を求めることができる。 ・反応速度に関わる条件に基づき、条件を変えることで反応速度がどのように変化するかを判断することができる。 	<p>（知 技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作（思判表） ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査（主体性） ・実験レポート ・授業の振り返り

		<ul style="list-style-type: none"> 触媒を用いると反応速度が大きくなる理由を、活性化エネルギーを用いて説明できる。 温度を大きくすると反応速度が大きくなる理由を、活性化エネルギーを用いて説明できる。 触媒を用いた際に反応エンタルピーがどのようになるか判断できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応速度について興味をもつ。 反応速度に関わる反応条件について興味をもつ。 化学反応のしくみと活性化エネルギーを用いた考え方に興味をもつ。 	
	<p>第4章 化学平衡</p> <p>1 可逆反応と化学平衡</p> <p>2 平衡状態の変化</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 可逆反応, 化学平衡, 平衡状態の考え方を理解する。 化学平衡の法則を理解し, 与えられた反応の平衡定数を濃度を用いて記述することができる。 固体が含まれる反応の平衡定数の書き方を理解し, その平衡定数を濃度を用いて記述することができる。 液体どうしや気体どうしの反応における平衡定数の書き方を理解する。 ルシャトリエの原理について理解する。 濃度, 圧力, 温度を変化させた際に平衡がどちらに移動するか理解する。 触媒を用いた際に平衡がどのように変化するか理解する。 平衡移動の考え方の工業的製法への適用について理解する。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平衡定数を用い, 化学平衡における量的関係を求めることができる。 濃度, 圧力, 温度を変化させた際に平衡がどちらに移動するか, ルシャトリエの原理に基づいて判断できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡とその考え方に興味をもつ。 化学平衡における平衡移動について興味をもつ。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 実験の操作 定期考査 (思判表) 問題演習 実験の考察 定期考査 (主体性) 実験レポート 授業の振り返り
<p>終業式 まで (6 時間)</p>	<p>第4章 化学平衡</p> <p>3 電解質水溶液の化学平衡</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電離平衡および電離定数, 水のイオン積について理解する。 電離度や電離定数を用いて, 水素イオン濃度や pH を求める方法を理解する。 弱酸, 弱塩基の遊離と塩の加水分解について理解する。 緩衝液の性質について理解する。 難溶性塩の水溶液中の溶解平衡および溶解度積について理解する。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電離度や電離定数を用いて量的計算を行い, 水素イオン濃度や pH を求めることができる。 弱酸や弱塩基の遊離において起こる現象を判断することができる。 塩の加水分解の反応式を書くことができる。 溶解度積を用いて量的計算を行うことができる。 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 実験の操作 (思判表) 問題演習 実験の考察 (主体性) 実験レポート 授業の振り返り

		(主体性) ・電離平衡およびそれに関わるさまざまな現象について興味をもつ。	
--	--	--	--

使用教材 参考図書	【教科書】：新編化学（数研出版）
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ・疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印を付けておくこと。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成したノートを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験の考察」、「確認テスト」、「定期考査」など <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験レポート」、「ノート」など
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	開講 学年	3年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） 運動の多様性や体力の必要性について理解できることを目指す 仲間と適切な関係を築き、合理的な実践ができるようになることを目指す ②（思考・判断・表現） 課題を発見し、課題解決の過程を思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようになることを目指す ③（主体的に学習に取り組む態度） 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人を大切にしようとするとともに、健康・安全を確保できるようになることを目指す
-------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	◎体づくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	(知 技) ●状況に応じたラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前期期末 まで (21時間)	●ダンス	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●連携した動きをすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	
後期中間 まで (27時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●動きによって空間を作り出す攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期期末 まで (21時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型 ◎体育理論	※ゴール型 (知 技) ●空間を埋める動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性)
終業式 まで (6時間)	◎体育理論 ※後期期末考査後から	※体育理論 (知 技) ●運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようになった	・出席状況 ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】： なし 【その他】： なし
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。 ・ 種目の特性やルール、行い方などを調べる。 ・ 皆と協力して活動する。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。 ・ 動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動、端末等を使つての授業の感想の提出 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	
準備物	<p>Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等</p>

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2	開講 学年	3年
----	-----	----	--------------	-----	---	----------	----

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習目標	聞くこと	「知識」 聞くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。 「技能」 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができるようになることを目指す。	事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えを理解したり、要点を捉えたりすることができるようになることを目指す。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されていることを聞こうとすることができるようになることを目指す。
	読むこと	「知識」 読むことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。 「技能」 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができるようになることを目指す。	説明、評論、物語、随筆などについて、目的に応じた読み方をすることができるようになることを目指す。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれていることを読もうとすることができるようになることを目指す。
	話すこと[やり取り]	「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになることを目指す。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになることを目指す。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合おうとすることができるようになることを目指す。
	話すこと[発表]	「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになることを目指す。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになることを目指す。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとすることができるようになることを目指す。
	書くこと	「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。 「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになることを目指す。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになることを目指す。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになることを目指す。

何ができるようになるか

期間	単元 (学習内容)	評価規準：学習の到達状況 (目指す状態)	評価物
前期中間 まで (14 時間)	●Lesson 5	【読むこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について読み取り、聞き手に伝わるように読むことができる (主体性) ●英語で書かれていることを主体的に読むことができる 【聞くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞くことができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (14 時間)	●Lesson 6	【話すこと (やりとり)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (18 時間)	●Lesson 7	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたこと、書いたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (14 時間)	●Lesson 8	【話すこと (発表)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたこと、書いたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとする	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (4 時間)	●Enjoy Reading 1 ●Enjoy Reading 2 ●Enjoy Reading 3	(主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとする	(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】: Vista English Communication II 【その他】: 補助プリント
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のこと や自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語論理表現	単位数	1	開講 学年	3年
----	-----	----	--------	-----	---	----------	----

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習目標	話すこと[やり取り]	<p>「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合おうとすることができるようになる。</p>
	話すこと[発表]	<p>「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとするようになる。</p>
	書くこと	<p>「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになる。</p>

何が
でき
るよ
うに
なるか

期間	単元 (学習内容)	評価規準：学習の到達状況 (目指す状態)	評価物
前期中間 まで (7 時間)	UNIT 0 UNIT 1 UNIT 2	【話すこと (やりとり)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (7 時間)	UNIT 3 UNIT 4	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (9 時間)	UNIT 5 UNIT 6	【話すこと (発表)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとするすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (7 時間)	UNIT 7 UNIT 8		(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (2 時間)	UNIT 9 UNIT 10		(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：基礎からのジャンプアップノート 英作文 演習ドリル 【その他】：補助プリント
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のことや自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	① （知識・技能） 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能が習得できるようになることを目指す
	② （思考・判断・表現） 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身に付けることができるようになることを目指す
何が できる ように なるか	③ （主体的に学習に取り組む態度） 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けることができるようになることを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己物
前期中間 まで (14時 間)	●第7章 持続可能な社会をつくる ・環境と調和のとれた生活 ・持続可能な社会の実現をめざして	(知 技) ●・大量生産、大量消費、大量廃棄の生活が環境へ与える負荷を理解している ・資源調達から廃棄までの各段階における環境負荷について検討し、環境に調和した生活を工夫することができる (思判表) ●環境に調和したライフスタイルのありかたについて、思考を深め、考えをまとめたり、発表したりしている (主体性) ●・消費生活と資源や環境との関わりについて考えようとしている ・環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
	●第9章 食生活のマネジメント ・食生活の成り立ち ・調理の基本を学ぼう (調理実習)	(知 技) ●基本的な調理技術を身に付けることができるようになった (思判表) ●データを読み取りながら現代の食生活の特徴を分析することができるようになった (主体性) ●・実習に必要な準備ができるようになった ・エプロン、三角巾、手洗いなどができ、必要な器具を準備できるようになった ・実習の材料等に関することを調べ、まとめることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録
前期末 まで (14時 間)	●第9章 食生活のマネジメント ・栄養と食品 ・安全で環境に配慮した食生活 (調理実習)	(知 技) ●・五大栄養素の働きと多く含む食品の特徴を理解することができるようになった ・基本的な調理技術ができるようになった (思判表) ●環境に配慮した食生活を送るために自分ができる行動を考えることができるようになった (主体性) ●・エプロン、三角巾、手洗いなどができ、必要な器具を準備できるようになった ・実習の材料等に関することを調べ、まとめることが	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート

		できるようになった	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習 ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録
後期中間 まで (18時間)	<ul style="list-style-type: none"> ●第9章 食生活のマネジメント ・食の文化を考えよう ・健康につながる食事計画 (料理講習会) 	<p>(知 技) ●地域の食文化や日本伝統の年中行事と食の関わりについて情報収集ができるようになった (思判表) ●ライフステージに合った食事計画を考えることができるようになった (主体性) ●エプロン、三角巾、手洗いなどができ、必要な器具を準備できるようになった</p> <p>・実習の材料等に関することを調べ、まとめることができるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・調理実習 ・実習記録
	<ul style="list-style-type: none"> ●第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント ・子どもの誕生 ・子どもの成長・発達 	<p>(知 技) ●妊娠、出産について理解できるようになった (思判表) ●自分が親になったときにどのようなことに気を付けるかを考えることができるようになった (主体性) ●胎児の成長と発達、母体の変化についてまとめることができるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
後期末 まで (14時間)	<ul style="list-style-type: none"> ●第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント ・子どもの生活と保育 ・子育てと子どもが育つ環境 	<p>(知 技) ●乳幼児の心身の発達や生活等について理解できるようになった (思判表) ●保育の重要性を考え、子どもの発達を支えるために家族や地域社会ができることを考えることができるようになった (主体性) ●発達に応じて適切に関わることができるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> ●第11章 住生活のマネジメント ・住生活の成り立ち ・家族の生活と住空間 	<p>(知 技) ●日本と世界の住生活の違いなど、住まいと人との関わりについて理解できるようになった (思判表) ●ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住生活を計画することができるようになった (主体性) ●日本の住生活の特徴について、まとめることができるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
終業式 まで (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ●第11章 住生活のマネジメント ・健康で安全な住生活 ・よりよい住環境の実現を 	<p>(知 技) ●日本と世界の住生活の違いなど、住まいと人との関わりについて理解できるようになった (思判表) ●ライフステージの特徴や課題に着目し、防災などの安全や環境に配慮した住生活を計画するこ</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (思判表) ・ワークシート

	めざして	とができるようになった (主体性) ●日本の住生活の特徴について、まとめることができるようになった	(主体性) ・ワークシート
長期休業	●ホームプロジェクト	(知 技) ●・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解できるようになった ・目標を明確にし、計画を立てて実践できるようになった (思判表) ●・生活の中から課題を見出し、課題解決に向けて思考を深め、適切に判断できるようになった ・見やすさなどを考え、スライドを作成し、発表することができるようになった (主体性) ●意欲をもって実践活動を行うことができるようになった	(知 技) ・ワークシート ・スライド (思判表) ・スライド ・発表 (主体性) ・スライド

使用教材 参考図書	【教科書】: <small>クリエイティブ リビング</small> 「Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう」 大修館書店 【その他】: 新聞記事など
学習方法	【主体的な学び】に関して ・授業を受けながら、大切と感じた箇所等にアンダーラインを引く ・ホームプロジェクトにおいては、自らテーマを設定し、課題を見出し、その解決を図りながら、実践・改善等を行う 【対話的な学び】に関して ・单元ごとに新聞記事やグラフの読み取りを行い、自分の考えを記述し、班で意見交換を行う 【深い学び】に関して ・書籍や新聞等を利用し、学んだこととリンクさせ、深い学びに繋げる ・実験・実習を通して、知識を深める
どのよう に学ぶか	
評価方法	【知識・技能】について 定期考査、単元小テスト、調理実習、ホームプロジェクト 【思考・判断・表現】について 定期考査、単元小テスト、調理実習、実習記録、ワークシート、発表 【主体的に学習に取り組む態度】について 定期考査、調理実習、実習の記録、ワークシート、授業態度、ホームプロジェクト
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商 業	科目	簿 記	単位数	2	開講 学年	3年
----	-----	----	-----	-----	---	----------	----

<p style="text-align: center;">学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 何ができるようになるか </div>	<p>①（知識・技能） 簿記の実務に即した体系的・系統的な理解及び関連する技術を身に付けることができるようになることを目指す。</p> <p>②（思考・判断・表現） 取引の記録と財務諸表の作成方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けることができるようになることを目指す。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上をめざして自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができるようになることを目指す。</p>
---	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	第1章 簿記の基礎 第2章 簿記の要素 (3時間)	(知 技) 簿記の目的や資産・負債・純資産の意味に関する基礎・基本的な知識を理解し、貸借対照表が作成できるようになった。 (思判表) 簿記の必要性について思考を深め、それを表現できるようになった。 (主体性) 簿記の目的などの簿記の基礎的内容や貸借対照表の作成に関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・定期考査(思判表) ・課題提出(主体性) ・授業態度
	第2章 簿記の要素 (2時間) 第3章 取引と勘定 第4章 仕訳と転記 第5章 仕訳帳と総勘定元帳 (6時間)	(知 技) 収益・費用の意味や仕訳に関する基礎・基本となる知識を理解し、損益計算書や主要簿が作成できるようになった。 (思判表) 勘定の必要性や貸借平均、資本の増減と収益・費用の関係について思考を深めることができるようになった。 (主体性) 収益・費用の意味や損益計算書の作成に関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	
	第6章 試算表 (2時間) 第7章 決算 (2時間)	(知 技) 試算表や精算表の作成方法について理解し作成できるようになった。 (思判表) 試算表や精算表の必要性について考えることができるようになった。 (主体性) 試算表や精算表の作成方法について関心をもち、進んで作成することができるようになった。	
	第7章 決算 (2時間)	(知 技) 簿記一巡の手続きに関する基礎基本を理解し、決算手続きができるようになった。 (思判表) 簿記一巡の手続きが必要なことを考え、貸借平均の原理について思考を深めることができるようになった。 (主体性) 簿記一巡の手続きに関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	
前期末 まで (14時間)	第8章 現金・預金の記帳 (4時間)	(知 技) 現金・預金の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解し、基礎的な処理ができるようになった。 (思判表) 現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現できるようになった。 (主体性) 現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めることができるようになった。	(知 技) ・定期考査(思判表) ・課題提出(主体性) ・授業態度

	<p>第9章 商品売買の記帳 (4時間)</p>	<p>(知 技) 商品売買の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解し、基礎的な処理ができるようになった。 (思判表) 商品売買の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現できるようになった。 (主体性) 商品売買の取引に関心を持ち、その記帳処理の学習を積極的に進めることができるようになった。</p>	
	<p>第10章 掛け取引の記帳 第11章 固定資産の記帳 (3時間)</p>	<p>(知 技) 個人企業における基本的な取引の構造を理解し、記帳に関する基本的な処理ができるようになった。 (思判表) 仕訳や各補助簿の役割について考察することができるようになった。 (主体性) 個人企業における取引の記帳に関心を持ち、進んで問題に取り組むことができるようになった。</p>	
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<p>第12章 決算(その1) 第13章 手形の取引の記帳 第14章 その他の債権・債務の取引 (4時間)</p>	<p>(知 技) 個人企業における基本的な取引の構造を理解し、記帳に関する基本的な処理ができるようになった。 (思判表) 仕訳や各補助簿の役割について考察することができるようになった。 (主体性) 個人企業における取引の記帳に関心を持ち、進んで問題に取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ・定期考査 (思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度</p>
	<p>第15章 販売費及び一般管理費と税金の取引 第16章 資本金の記帳 (3時間)</p>	<p>(知 技) 個人企業における各補助簿の役割を理解し、簿記の目的の一つに財産管理があることを理解できるようになった。 (思判表) 資本に関する取引について、取引の意味を考え、経営活動を明瞭に表現することができるようになった。 (主体性) 理解できない内容について自分で調べたり積極的に質問したりすることができるようになった。</p>	
	<p>第17章 決算整理(その2) (4時間)</p>	<p>(知 技) 決算手続きの意味を理解し、決算を行うための知識と技術を身に付けることができるようになった。 (思判表) 決算整理を行う必要性について考えることができるようになった。 (主体性) 決算整理を伴う決算手続きについて関心を持ち、自分から進んで演習問題に取り組むことができるようになった。</p>	
	<p>第18章 帳簿 (2時間) 第19章 仕訳伝票と3伝票制 (3時間)</p>	<p>(知 技) これまで学んでいる諸帳簿の記帳法が理解できるようになった。また、仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法を理解できるようになった。 (思判表) 入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じ、記帳の合理化を考えることができるようになった。 (主体性) 伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳の学習を積極的に進めようとしたか。</p>	
	<p>第20章 会計ソフトウェア (2時間) 第21章 有価証券とその他の手形の記帳 (2時間)</p>	<p>(知 技) 取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解できるようになった。 (思判表) 会計ソフトウェアをどのように活用するか判断を通じ、記帳の合理化を考えることができるか。 (主体性) 会計ソフトウェアの活用に関心を高め、その運用方法について積極的に学ぶようになった。</p>	
<p>後期末 まで (14時間)</p>	<p>第22章 決算(その3) (5時間)</p>	<p>(知 技) 費用・収益の繰り延べと見越しなど新しい決算整理の意味を理解し、財務諸表の作成に関する知識と技術を身に付けることができるようになった。 (思判表) 期間損益計算の観点や評価勘定の観点について考察することができるようになった。 (主体性) 新しい決算整理事項に関心を持ち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ・定期考査 (思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度</p>

	第 23 章 支店の取引 (5時間)	(知 技) 支店会計が独立している場合の、本店および支店それぞれの取引の記帳方法を理解できるようになった。 (思判表) 支店勘定と本店勘定の残高が貸借反対で一致する理由について考えることができるようになった。 (主体性) 支店の取引の記帳法について自ら学び、支店会計が独立している場合の、本店および支店それぞれの取引の記帳方法を積極的に身に付けることができるようになった。	
終業式 まで (4時間)	第 24 章 本支店の財務諸表の 合併 (4時間)	(知 技) 本支店の記帳や合併財務諸表の作成に関する知識や技術を身に付けることができるようになった。 (思判表) 本支店間の取引についての疑問点を考え、各場面において適切に判断し記帳できるようになった。 (主体性) 本支店間の取引に関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・定期考査 (思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：「高校簿記」(実教出版) 【その他】：新聞など各種メディアからの情報・外部講師からの講話
学習方法	【主体的な学び】に関して 実務に即した例題を取り入れた学習活動に粘り強く取り組んでください。 【対話的な学び】に関して 取引の記録と財務諸表の作成方法についてグループで考察し討論を行います。 【深い学び】に関して 基本的な会計用語については英語表記に慣れ親しむことができるようになるとともに、企業会計に関する法規と基準の改正などに随時対応できるようになってください。
どのよう に学ぶか	
評価方法	【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、記帳問題 【思考・判断・表現】について 財務諸表の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等、定期考査
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	情報処理	単位数	2	開講 学年	3年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 企業において情報を扱うことについての実務に即した体系的・系統的な理解及び関連する技術を身に付けることができるようになることを目指す。
	②（思考・判断・表現） 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けることができるようになることを目指す。
何が できる ように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組むことができるようになることを目指す。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	第1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 (3時間) 2節 情報モラルと法規 (2時間) 3節 コミュニケーションと情報デザイン(3時間)	(知 技) 情報処理における情報デザインについて理解し、関連する技術を活用できるようになった。 (思判表) 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できるようになった。 (主体性) 情報を取り扱う上で守るべき法律を理解し、その目的と概要を説明できたか。また、法令を遵守できるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 (2時間) 2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 (1時間) 3節 インターネットの活用 (1時間) 4節 セキュリティの保護 (2時間)	(知 技) コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成して、その機能を活用することができるようになった。 (知 技) 電子メールのマナー、危険性などについて理解できるようになった。 (思判表) 検索・収集にインターネットを利用することに興味をもち、効率的な検索ができるか。また、情報の価値や正確性について理解できるようになった。 (主体性) 情報技術におけるセキュリティ管理について興味をもち、対策などを考察できるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
前期末 まで (14時間)	第3章 情報の集計と分析 1節 ビジネス統計 (1時間) 2節 関数を利用した表の作成 (5時間) 3節 グラフの作成 (3時間)	(知 技) 表情報の重要性について理解するとともに、情報を分析して適切に表現できるようになった。 (思判表) 問題を分析し、表計算ソフトウェアの機能を用いて、適切な表やグラフを作成することができるようになった。 (主体性) 表計算ソフトウェアによる業務の合理化やデータをグラフ化することに関心をもち、問題解決に活用しようとするようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	4節 情報の整列・検索・抽出 (2時間) 5節 問題の発見と解決の方法 (3時間)	(知 技) ビジネスに関する問題の発見と解決について、基礎的な技法を理解し、関連する技術を活用できるようになった。また、抽出されたデータなどの意義を理解し、分析する判断に利用できるようになった。 (思判表) ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、科学的根拠に基づいて、表現できるようになった。 (主体性) ビジネスに関する問題の発見と解決について、自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度

後期中間 まで (18 時間)	第4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 (2時間) 2節 基本文書の作成 (2時間)	(知 技) 情報と文書の関係、各種文書の役割や文書の構成要素などについて理解できるようになった。 (思判表) 目的に応じた適切な文書を選択し、ワープロの機能を使いその文書の作成ができるようになった。 (主体性) ワープロの基本的な機能を利用し、様々な文書が作成でき、ワープロの機能を理解できるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	3節 応用文書の作成 (7時間)	(知 技) 表計算ソフトウェアと連携した文書作成ができ、データの差し込み印刷などの機能を理解できるようになった。 (思判表) 必要に応じて様々な機能を選択・工夫し、表現力に富んだ文書の作成ができるようになった。 (主体性) 計算機能やグラフ、イラストなどを利用した表現力に富んだ文書の作成に積極的に取り組み、積極的に取り組むようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
後期期末 まで (14 時間)	第5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法 (3時間) 2節 ビジネスとプレゼンテーション (6時間)	(知 技) プレゼンテーション活動の意義や役割を理解できるようになった。また、情報収集や整理、内容構成など、プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの基礎的が技法できるようになった。 (思判表) 目的や形態に応じた適切な方法で、資料作成などの準備ができるようになった。 (主体性) 実習や探究問題に主体的に取り組むようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	全商情報処理検定試験問題 (5時間)	(知 技) 情報処理の専門用語や様々な技法について理解できるようになった。 (思判表) プログラミングの問題を考察し、正しい答えを導くことができるようになった。 (主体性) 情報系の資格に興味をもち、その資格取得に向けて積極的に学ぼうとするようになった。	(知 技) ・ 演習問題 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
終業式 まで (4 時間)	ITパスポート演習問題 (4時間)	(知 技) 情報処理の専門用語や様々な技法について理解できるようになった。 (思判表) プログラミングの問題を考察し、正しい答えを導くことができるようになった。 (主体性) 情報系の資格に興味をもち、その資格取得に向けて積極的に学ぼうとするようになった。	(知 技) ・ 演習問題 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：「最新情報処理」(実教出版) 【その他】：各種メディアからの情報、全商情報処理検定問題、ITパスポート問題
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して 企業において情報を扱う具体的な場面を想定した実習に粘り強く取り組んでください。 【対話的な学び】に関して 情報の管理や活用に関する分析、表現方法や伝え方の工夫についての考察やグループでの話し合いに積極的に取り組んでください。 【深い学び】に関して 発展てきな学びとして、様々なプログラミング言語から目的に応じた適切な言語を選択できるようになってください。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、実技テスト 【思考・判断・表現】について 作品の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、自己評価や相互評価等、定期考査